



教育時間と保育時間の担当を

分担することで、できること(クラス担任制)

教育時間後の預かり保育を担当以外の職員が担当することで、クラス担任は次の日の保育準備や今後の保育の計画や教材研究、子ども一人ひとりの記録と保育の反省、水曜日など午前保育の午後は全体の打ち合わせや研修の時間を設けることができます。クラス担任制を維持することで、更に幼児教育の質向上を目指します。

○活動の準備時間の充実

翌日以降の活動の計画や試作、教材研究など、質の高い教育に準備の時間は必要不可欠です。受け持つ子どもは毎年違うので、その子たちに合わせて、活動を新たに考えたり、内容の見直しをしたりします。教育課程(カリキュラム)をもとに月々の活動の目標を考えたり、じっくりと時間をかけて幼児教育と向き合っています。



○保育の振り返りの充実

お子様の記録やその日の保育の反省などに十分な時間をかけて、翌日の保育に活かします。毎日、同じ担任が子どもを見る「クラス担任制」だからこそできる、詳細で連続性のある記録で、子ども1人ひとりの理解が丁寧になります。

○打ち合わせや情報交換の充実

共通の教育理念のもとでの幼児教育を行ったり、一つに行事に向かって園全体で力を合わせたりと、幼稚園では職員全員で一つの目標に向かって動く場面が多いです。その為、打ち合わせはとても重要なものになっております。

また、子ども達についての話し合いをする時間を確保し、職員間で情報を共有することで、園全体で子ども達を見守る体制を作ることができます。



○ご家庭との連携の充実

お子様の様子を電話でお伝えしたり、あゆみのノートの記入をしたり、家庭との連携にも力を注いでいます。幼稚園は子どもにとって初めての社会生活です。様々な経験をし、嬉しいことも、頑張らなければならないこともできます。そんな時はご家庭と連携をとり、時に励まし、時に受け止め、一緒にお子様を見守っていくことが必要となります。バス通園でなかなかお会いできない保護者の方もいる中で、これらの時間を大切にしています。



○水曜日の午前保育も継続していきます

水曜日の午前保育は子どもの中休みという意味合いもありますが、それ以上に教員のスキルアップの為に大切なものとなっております。午前保育の午後にしっかりと時間を設けることで、普段はできない長時間の話し合いや、研修会に参加することもできます。この教育準備の時間を大切にすることは、預かり保育だけを行う従来の保育園にはありえないものだと思います。